

萃

大阪発達総合療育センター機関紙
第48号 2023年春

社会福祉法人 愛徳福祉会

大阪発達総合療育センター

Osaka Developmental Rehabilitation Center

保険医療機関 南大阪小児リハビリテーション病院

INDEX

- ・特集に寄せて 船戸 正久 ……1P
- ・特集に寄せて 川端 秀彦 ……1P
- ・訪問診療科部長就任挨拶 飯島 禎貴 ……2P
- ・卒園式・入園式 ……2P
- ・電子図書のご紹介 ……2P
- ・新しいチャレンジ 技能実習生について③ ……3P
- ・リレーエッセイ ……3P
- ・イベントトピック ……4P
- ・寄付金と寄付物品 ……4P
- ・職員研修実績状況 ……4P

特集に寄せて

社会福祉法人 愛徳福祉会 理事長

船戸 正久



新年度に入り新入職員の方々が入職して下さり、センター内にも新しい風が再び吹いています。初心忘れず、梶浦元理事長の座右の銘である「謙虚と挑戦」の精神を引き継いでいただきたいと願います。ベトナムから技能実習生3名（ニュンさん、ナムさん、マイさん）が来日してくれました。他国からの新鮮な風を注いで下さるよう期待します。

2014年に当センターの訪問診療科を立ち上げた和田浩部長が退職され、引継いでいただいた飯島禎貴副部長が部長として就任しました。訪問診療科は、在宅診療を行い利用者の方々からも大変喜ばれている科です。是非皆さま方の支援を宜しく願います。

今回電子図書の紹介を寺裏庸加係長からいただきました。職員の業績はセンターの財産としてお互いに共有したいと思います。電子図書の充実に協力お願いいたします。

最後に4月3日敬愛します鈴木恒彦前理事長が急逝されました。職員一同悲しみに充たされていますが、前理事長が残して下さった遺志を引継ぎ、センターの発展に努力したいと思います。

特集に寄せて

南大阪小児リハビリテーション病院 院長

川端 秀彦



今年の桜は例年より早く咲きましたが、入職式にも十分見応えのある花が咲き続けていました。春は多くの新しい仲間を迎え入れることができ、すべてが輝いて見える季節です。

本特集でも卒園・入園のたよりを「ふたば」「あさしお園」「ゆうなぎ園」からいただいています。新しい子どもたちの期待に応えられるよう職員一同がんばって行きましょう。

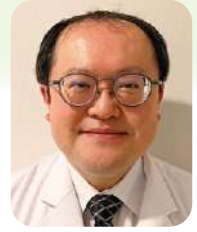
またコロナ禍も一段落して、3名の技能実習生がベトナムからこられましたし、インスタグラムやフェイスブックといったSNSメディアでの情報発信も始まりました。チャレンジ精神で職員ひとりひとりが前向きに取り組むことで組織が活性化すると思います。今年度もよろしく願います。



訪問診療科部長 就任挨拶

小児科副部長兼 訪問診療科部長

飯島 禎貴



この度、訪問診療科の部長となりました飯島 禎貴（いじま よしたか）です。神奈川県に生まれて、四方を山に囲まれた山梨での大学生時代は卓球に打ち込み、たまに麻雀を楽しんでいました。ボランティアサークルにも所属し、今の奥さんと出逢いつつ障害を持った方々と出逢い、たくさんの思い出を作らせてもらいました。

地域で生活をしている障害を持った方々を支える仕事をするために、静岡から障害を持った方々がより地域に密着している大阪に来たのは12年前になります。来た時は可愛らしい小学校1年生だった長男は今年、優しくも自分の意見をしっかり持って親ともケンカできる大学生となって遠く青森に行くぐらいの時間が経ちました。その間ずっとここ大阪発達総合療育センターで働かせて頂き、本当にたくさんの事を学ばせてもらいました。今回、訪問診療科の部長となり、センターで学ばせて頂いた事を地域に直接還元させて頂く機会が来て本当に嬉しいです。

本当に有り難い事に訪問診療科のメンバーは、皆さん患者さんやご家族を大切にしたいという想いがあり、それぞれの専門性も高いです。そのため、私の一番重要な仕事はメンバー一人ひとりを心身共に健康であるように支え、患者さんやご家族の事を思いやる事が出来る環境を整える事だと考えています。4月から新しく二人の先生を迎えて、センターの掲げる「私たちは障害を持つ人々が地域において安心して生活できるように、総合的支援を実施いたします。」をより大きく実現していきます。

卒園式・入園式

ふたば

春は別れと出会いの季節、ふたばでも3月26日に卒・退園式が行われ、くす玉や在園児からの祝福を受けながら5人の卒園児と12人の退園児が小学校や地域の幼稚園や保育所等へと巣立っていきました。また、新しく14名の入園児を迎え、4月9日の入園式には笑顔で胸を弾かせていました。



あさしお園

第44回あさしお園卒退園式を3月26日に執り行いました。卒園児13名、退園児6名に「修了証書」、「あゆみ」が授与されました。卒園証書を受け取る姿に、子どもたちの成長と頼もしさを感じました。また、4月3日には12名の子どもたちと保護者をお迎えし入園式を行いました。これから、ドキドキ・ワクワクすることにたくさんチャレンジしていきましょうね。



ゆうなぎ園

令和5年3月26日、卒園式を行いました。今年の卒園児は14名。4年ぶりに4歳児さんも参加して頂き卒園のお祝いできました。思い出の写真のみたり、保護者のメッセージをうかがったり皆で和やかな時間を過ごしました。



電子図書のご紹介

総務課 係長 寺裏 庸加

センター電子図書は、職員が著した投稿論文や学会発表した研究が学会雑誌に掲載された成果物をデータ化して保管し、職員が必要に応じて利用できるよう管理することを目的として立ち上げられました。大きな組織では機関リポジトリとも呼ばれ、このリポジトリには「保管・貯蔵・倉庫」といった意味合いがあります。当センターでも職員が在籍中に収集し得たデータや、それらについて発表した論文は、センターの共有財産であるという考え方から、各部署あるいは個人で管理、保有するのではなく、一元管理して公開、発信していければと考えています。今後は職員の皆様がもっと利用していただけるよう内容を充実させていきたいと思っておりますので、職員の皆様には投稿論文の収集にご協力をお願いいたします。



新しいチャレンジ 技能実習生について③

ベトナム人技能実習生の3人は2月12日に入国、その後入国後講習を修了し3月17日から各病棟で実習が開始となりました。3人は慣れない日本での生活をしながら、各病棟での実習をがんばっています。今回はその様子をお伝えできればと思います。

2階病棟 実習指導員 川副主任

3月中旬より、わかば病棟で実習開始となりました。一生懸命慣れない日本語でスタッフや子ども達とたくさん関わり、子どもたちからはとても愛されており介助してもらっているのを楽しみにしている子どもが沢山います。何事にも一生懸命で分からない事はすぐに質問され、積極的に子どもに関わってくれる姿がよく見られます。介助も日本語も日に日に成長している姿を感じています。

3階病棟 実習指導員 野口CW

ナムさんが病棟に来られて約1ヶ月が経ちました。業務にも少し慣れ、スタッフや利用者様のことを着々と覚えていっています。日本語でのコミュニケーションがうまくいかないこともあります。焦らずに時間をかけて理解してもらえるように我々も指導しています。ナムさんは「利用者さんとお話をしたり、一緒に余暇活動に参加することが楽しい」と仰っており、これからも利用者様と積極的に関わってみたいですね。

4階病棟 実習指導員 吉田主任

実習開始時はとても緊張していましたが、少しずつ病棟での実習に慣れてきている様子です。とても真面目で勉強熱心なマイさん!利用者様の名前も3日程度でほとんどの方を覚えていて、現在はほぼ完璧に顔と名前も一致しています。実施したことや指導されたこともしっかりと覚えており、スタッフとの会話も少しずつスムーズになってきています。

利用者様との関わりも丁寧で、マイさんの明るく話しやすい雰囲気や性格から利用者様からも「マイさんと話したい」休みの日は「いないの?」といった声があります。

◆ファム ホン ニュンさん



初めて日本で介護士として働きますので色々な事が困りました。介護士としての経験だったり、仕事では日本語で話したり、勉強した日本語を会話に応用することが難しかったです。でも職員の方からいつも熱心に教えてもらうおかげで、慣れてくると思います。仕事に早く慣れて日本語と介護の技術が良くなるようにもっと頑張ります。

◆グエン フォン ナムさん

まだ仕事で分からないことが多いですが、みんなが優しく熱心に教えてくれて感謝しています。仕事に慣れるように頑張ります。



◆グエン ティ タイン マイさん



働き始めて、人のサポートをするというのはとても意味のある仕事だということがよく分かりました。ご利用者さんだけでなく、自分自身にも喜びをもたらす、仕事に行くたびにとても嬉しく幸せな気持ちになります。その上、職員の方からいつも熱心に教えてもらうおかげで、だんだんと慣れていきます。これから仕事も勉強も一生懸命頑張ります。

リレーエッセイ

運営局 栄養科 畑 壮祐

今回、葦48号のリレーエッセイを担当させていただきます。運営局栄養科の畑と申します。栄養科の一員として日々5階の厨房から、給食を提供させていただいています。

私の趣味は音楽のライブに行くことです。最近はコロナ禍の影響もあり、行く回数も激減したのですが、コロナ前は仕事終わりにライブハウスへ足を運び、年間40回もライブにいました。そんな中でも私が一番好きなのは『京都大作戦』というフェスです。

京都大作戦は最近スラムダンクの映画の主題歌でも話題になった、10-FEETというバンドが主催しているフェスです。梅雨の時期の野外フェスなので天候が悪かったり猛暑だったり環境は良くないですが、出演バンドが繋いできたタスキを受け取った10-FEETのライブは圧巻で、観客と一体感や熱量はどのライブよりも最高です。

今年も開催予定なので興味のある方はぜひ参戦してみてください。



イベントピックアップ

入職式

令和5年4月3日に入職式が執り行われました。今年、35名の新入職員が入職しました。ご入職おめでとうございます。



SNS開設

3月1日より、公式SNS (Instagram・facebook) が開設されました。センターからのお知らせや、活動の様子をお届けします。ぜひ『いいね!』や『フォロー』など応援していただくと幸いです。これからセンター公式SNSをより多くお願いいたします!



感謝

大阪発達総合療育センターへの御理解・御協力誠にありがとうございます

一般寄付金

月	寄付者 (敬称略)	(R5.1 ~ R5.3)
1月	enじょいんと	本園
3月	明るい社会づくり運動 ナニワフォーラムネット 理事 早崎俊郎	分園
	楽基金 1件	本園

寄付物品

月	寄付者 (敬称略)	物品名	(R5.1 ~ R5.3)
1月	匿名	おもちゃ	本園
	匿名	小型ヒーター 2台	本園
	俣山直樹	洋服	本園
	川元裕正	おもちゃ	本園
3月	炭田千津子	バンビーナ・ハイチェア	本園
	廣瀬志門	木のおもちゃ	本園
	匿名	靴	本園
	田朋子	ペーストメーカー	本園
	匿名	児童机	本園
	匿名	水遊びパンツ	本園
	株式会社BIG	おもちゃ	本園

職員研修実施状況

令和5年1月~3月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

実施日時	企画部署	研修名	講師	参加人数	場所
令和5年2月16日(木) 17:40~18:40	教育研修部	発達障がい児の支援から学ぶ	あさしお園 保育士主任 大西慶子 作業療法士 錦織 忍	90名	5階ホール他
令和5年2月24日(金) 17:40~18:40	セーフティマネジメント 委員会 教育研修部	医療ガス安全管理研修会・医療安全研修会	株式会社ババ 加納直輝氏 看護部 内本 薫	79名	5階ホール他
令和5年3月4日(土) 13:30~17:30	教育研修部	令和4年度入職 新人フォローアップ研修	株式会社インソース 河岡ほずみ氏	19名	5階ホール



大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関)
フェニックス(医療型障がい児入所施設・療養介護事業・短期入所事業)
主として重症心身障がい児者
わかば(医療型障がい児入所施設・短期入所事業)主として肢体不自由児
ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)主として肢体不自由児
いぶき(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)
なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業)
〒546-0035 東住吉区山坂5-11-21
TEL:06-6699-8731 FAX:06-6699-8134
訪問看護ステーション めぐみ(指定訪問看護事業)
TEL:06-6699-8855 FAX:06-6699-8856
ヘルパーステーション めぐみ(指定訪問介護事業)
TEL:06-7506-9223 FAX:06-6699-8856
〒546-0035 東住吉区山坂5-9-16

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会
発行責任者・船戸正久

大阪発達総合療育センター あさしお診療所(保険医療機関)
あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として肢体不自由児
ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)主として難聴児
〒552-0004 港区夕風2-5-3
TEL:06-6574-2521 FAX:06-6574-2524
きりり(共同生活援助事業・短期入所事業)
TEL:06-7501-0328 FAX:06-7501-0330
ひなた(生活介護事業)
TEL:06-7501-0319 FAX:06-7501-0330
みらい(放課後等デイサービス事業)
TEL:06-7501-0282 FAX:06-7504-0212
〒546-0035 東住吉区山坂5-12-5